

2021/10/1-2

(うと Q 世話し 答えに詰まる)「新常态」にうろたえる 推敲版

窓の外では雨と風が荒れ狂っている。

本日、今年何度目かの最大級の台風、16号の接近。

数年前、在る地方での豪雨による土砂災害で多くの人命が失われましたが、その時はまだ「例外的な豪雨のせいで」という捉え方が大半でした。

しかし今では是までの学習効果により、既に我々の頭の中では地球温暖化が元で「毎年繰り返される恒例の事態」として認識されるようになりました。

又、コロナ禍をきっかけにお上になど幾ら訴えてもどうにもならないコミュニケーション不能の相手が存在することや、その対策に膨大なお金を矢継ぎ早に使い、最早いかなるパワー、国、中銀もその膨大なお金の偏った暴走を制御することが不可能になってしまっていること、そしてこのお金の偏った暴走の行く付く果ての大国による「パワーゲームの影」が遠い世界の対岸の火事などではなく、既にもうすぐ隣に迄忍び寄っていることにも気づかされつつある昨今。

そんなお上から下々の我々に至るまで遍く「自分を万物の王」と勘違いした人間の我が儘勝手な振る舞いの中で、コロナ禍現下で発令されていた「緊急事態宣言」や「蔓延防止措置(令)」が解除されたと同時に「最大級の台風」が襲来。

本来開放感に酔う処、その出鼻をくじいたのは「傍若無人の振る舞いを諫める為に投げかけられた象徴的な出来事」なのではないかと自分一人かもしれませんが、俄に思い当たりました。

この自分なりの印象を「上述の出来事の擬人化」で述べますと

「このまま行くと、人間と地球の利害が決定的に相反してしまうぞ。人間にとっての善が地球にとっての悪になってしまう」

と。

更にキツイ言い方をすると

「改めぬまま、このまま行くと人間に取っての善である「成長(概念)」は地球からは悪と見なされて許されず、逆に人間にとっては負と見なされる「衰退」や「フェードアウト(退場)」するしかなくなるぞ」

と最大限の注意喚起を促されているのではないのかなと。

そしてもし地球と折り合いを付けようとするなら、最早上述のキツイ言い方の道をたどる以外になくなっており、それが「今後の我々の常態(ノーマル)」になるのだと云う仮説が当たってしまっているのだとすれば、一体我々はこの先どう考えれば希望を持てるのか？
何を原資にこの苦難を超えて進むパワーを得ることが出来るのか？

何か今、自分の眼前には何となく気づきながらもやむやにしてきた問いが

「逃げるな」

とばかりにはっきりと明確に突きつけられて居るのをつぶさに感じて、答えに詰まってし

まいました。